

式 辞

本日、ここに松阪市制施行 20 周年記念式典を挙行するにあたり、ご参加いただく皆様に心から感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、平成 17 年 1 月 1 日、松阪市、嬉野町、三雲町、飯南町、飯高町の 1 市 4 町が合併し、新たに松阪市として市制が施行されました。

当時、生まれた赤ちゃんが、二十歳となることを考えますと、とても長い歳月であることと感じます。今回 20 周年を迎えることができますことは、市民皆様がそれぞれにご尽力いただいた賜物として、あらためて心から感謝申し上げます。

本日、市政功労者や団体として表彰させていただく皆様におかれましては、松阪市のためにそれぞれの分野においてご尽力いただいただけでなく、次の世代に対してもこれから歩む道を指し示していただける方々でございます。ぜひとも今後ご指導いただきますようお願い申し上げます。

5 年前、新型コロナウイルス感染症の流行が始まりました。これまでの生活様式が大きく変わっていく中、直接、医療現場で携わっていただいた方、福祉の向上のため取り組んでこられた方、地域での活動に取り組んでこられた方など、これまでの伝統や人と人とのつながりが途切れる可能性があった中、創意工夫して活動を続けられ、市民の健康や松阪市政、地域の維持活性化に取り組んでいただいた、様々な分野で活動をされた皆様に感謝申し上げます。

今回、20 周年を迎えるにあたって、本日の式典一日限りではなく、令和 7 年一年間をかけて「市制 20 周年記念事業」として様々な記念事業を実施してまいります。市役所が実施する事業だけでなく、公募して採択された映画祭やコンサートなど 20 を超える事業も予定されています。事業を行う方も事業に参加される方も、皆様に松阪市への誇りと愛着、シビックプライドを感じていただくとともに、一体感を感じていただきたいと思います。

松阪市の総合計画の将来像「ここに住んで良かった・・・みんな大好き松阪市」、そのように皆様を感じていただけるよう、取り組んでまいります。今後も皆様にご協力いただきますことを切にお願い申し上げます。

最後になりますが、先人の築かれた歴史を受け継ぎ、市民の皆様の力をお借りしながら、未来へ向け素晴らしいまち松阪市を築いていけるようこれからも歩んでいくことをお約束し、式典開会にあたりましての式辞とさせていただきます。

本日はまことにありがとうございます。

令和 7 年 2 月 9 日

松阪市長 竹上 真人